

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	悪性リンパ腫
治療法	イストダックス単独療法

	1
抗癌剤・商品名	イストダックス
規格	10mg
一般名	ロミデプシン
一日投与量(規定)	14mg/m ²
患者情報から算出した一日投与量	21.02 mg
実際の投与量	20 mg
	13.3 mg/m²
投与日	day1,8,15
1クール期間	28日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	再発・難治性末梢性T細胞リンパ腫
推奨経口剤	○このレジメンは中等度催吐性リスク群です。 ※5HT3受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 デカドロン: day2, 3, 4: 8mg/日 イメンドは相互作用によりイストダックスの血中濃度上昇が報告されているため、必要性を十分に検討したうえで使用すること
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.妊婦又は妊娠している可能性のある女性
中止基準	投与前の好中球数: 1000/mm ³ 未満、血小板数: 50,000/mm ³ 未満 骨髓機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	●イストダックス 重大 1.骨髄抑制 2.感染症 3.QT間隔延長 4.腫瘍崩壊症候群 5.過敏症 その他 (10%以上)悪心、嘔吐、便秘、下痢、口内炎、AST(GOT)増加、ALT(GPT)増加、食欲減退、低リン酸血症、低カリウム血症、低カルシウム血症、味覚異常、頭痛、発熱、疲労、倦怠感、ヘモグロビン減少、注射部位反応、発疹 (5~10%未満)心房細動、上気道の炎症、低酸素症、体重減少、低ナトリウム血症、低アルブミン血症、低マグネシウム血症、末梢性感覚ニューロパチー、静脈炎 (5%未満)心電図ST-T変化、心電図ST-T部分上昇、心電図T波逆転、悪寒、末梢性浮腫 (頻度不明)腹痛、頻脈、咳嗽、深部静脈血栓症、肺塞栓症、出血
備考	●毎回投与前に心電図測定を行うこと
その他	●カリウム、マグネシウム、カルシウムの値が施設基準下限を下回った場合は休薬の上、補正を検討する。 施設基準範囲内まで回復するまで再開は推奨されていない。 ●CD4+リンパ球の値に応じてST合剤やアシクロビルの予防的投与を検討すること。

イストダックス療法 観察記録

所要時間: 5時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()		
医師	指示医師: イストダックス(mg) 一般名(ロミデプシン)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加		
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施		
投与指示	本体	側管				
	生食250mL		5時間かけて点滴【50mL/h】			
	生食100mL +アロキシ1V +デカドロン 3 A		30分かけて点滴【200mL/h】			
	生食500mL+イストダックス		4時間かけて点滴【 125 mL/h】			
本体終了後抜去						
バイタル	項目	投与前	イストダックス投与中	投与後	●穿刺部位 末梢(右手 左手 その他:) CVポート(逆血 有り 無し) ●穿刺針 末梢留置針 (20G 22G 24G) CVポート穿刺針22G (16mm 19mm 25mm)	サイン
	体温					
	脈拍					
	血圧	/	/	/		
	SpO ₂					
観察	呼吸困難				看護記録	サイン
	紅斑・発疹					
	悪寒					
	疼痛					
	嘔気					
	嘔吐					

アクシデント
(過敏反応、不整脈、血管外漏出等)

お薬手帳



※身長160cm 体重50kg 体表面積1.5m²の患者さんの場合の
1日治療に掛かる抗がん剤薬価(day1のみ)
○イストダックス:223,570円